

塙工業高等学校 読書推進プロジェクト

1 学校の概要

- ①福島県東白川郡塙町大字台宿字北原 121
- ②学級数 6クラス 生徒数 64名 (令和4年5月1日現在)
- ③学校図書館の蔵書数 14,156冊 (令和4年5月1日現在)

2 記載内容

- ①生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

- ・ 推薦図書コーナーの設置

『『新書』って何?』『“マンガ”から学ぼう』といったポップをつけ、推薦図書専用の棚やスペースを設けている。

- ・ 図書館行事の実施

ハロウィンの時期にプレゼント企画をおこなったり、その時々で話題となっている映画・アニメの映像化に関する書籍の特設コーナーを作るなど、生徒が本に親しみやすい学校図書館の環境を整備している。



- ②学校における読書を通した読書週間の定着を図る取組

- ・ 塙工業読書週間

生徒の読書週間の定着を図るため、10月11日から10月31日を「塙工業読書週間」として、さまざまな企画を立てている。

- ・ ベストリーダー賞

年間の貸出冊数30冊以上の生徒に対して表彰を行う「ベストリーダー賞」をもうけ、読書習慣の定着を図っている。

- ・ 「ビブリオ・はなわ」

毎月、図書だよりの「ビブリオ・はなわ」を発行し、生徒に読書の楽しさを伝え、読書習慣の定着をうながしている。

・「おでかけ ビブリオ・はなわ」

図書館の本の一部（20冊程度）を、各クラスへ2週間ほど“おでかけ”させ、貸し出しも可能とすることで、読書習慣の定着をはかっている。書籍の種類もバラエティ豊かで、いつもなら手に取らないような本も多く、新しい読書体験を喚起できている。



・「ビブリオフィリア」

年度末に、「ビブリオフィリア」（図書館報）を発行し、教職員が推薦図書や読書体験などを寄稿し、読書活動を啓発している。

③読書活動の質の向上へ向けた取組

・「ビブリオ・はなわ」での生徒への執筆の働きかけ

生徒に図書だよりの執筆を依頼し、自分の読書体験について文章化させる。

・読書の推奨と言語活動の実践

授業において、読書の意義深さを伝える。世界史の授業で映画『戦場のピアニスト』を視聴させた後、ウワディスワフ＝シュピルマン著『戦場のピアニスト』（春秋社）、ヘルマン＝フィンケ著『「戦場のピアニスト」を救ったドイツ国防軍将校 ヴィレム＝ホーゼンフェルトの生涯』（白水社）、V・E・フランク著『夜と霧』（みすず書房)の抜粋部分を読ませ、言語活動をともなうアクティブラーニングを行うなどしている。

④その他、読書活動推進へ向けた取組

・新入生オリエンテーリング

新入生に対して、国語科の授業時間を利用した図書館の利用ガイダンスを実施している。

・公共図書館との連携

団体貸し出しを活用している。今年度は、今まで3回ほど、総合的な探究の時間等に関連する町史などの書籍を借り受け、授業に活用している。